

今号のピックアップ

・1ページ 研修会及び総会案内 ・2ページ 事務局活動報告



研修会「フォローシップ研修」開催

令和8年5月29日（金）港区民センターにて、「フォローシップ」をテーマにした研修会を開催します。フォローシップとは、組織やチームの目標達成に向けて、リーダーを支えながら主体的に貢献する姿勢や行動のことで、単に「指示に従うこと」ではなく、より能動的で建設的な役割を意味します。学校をはじめとした組織の一員としての役割を把握し、適切に対応することや、学校長や教職員の意向を的確に理解し、自分の意見や考えを伝えることで、組織における情報共有や課題解決がスムーズに進み、円滑な組織運営につなげることができます。

今回の研修会では、FPM-α 小川 ゆき 様を講師としてお招きし、フォローシップに関する基本的な知識や、その実践方法について、事例やグループワークを交えながら説明していただく予定です。主体的に組織の運営を支えるために、メンバーの意向を的確に理解し協働できるよう、フォローシップについて一緒に学び、日々の業務に活かしていたければ幸いです。より効果的に業務を進めるためのヒントが得られる内容となっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

このように進めていくのはいかがでしょうか？



その案いいですね。進めてください。

令和8年度 総会開催

- |    |   |        |
|----|---|--------|
| 日時 | 5月29日（金）  | 研修会終了後 |
| 会場 | 大阪市立港区民センター   |        |
| 議事 | (1) 令和7年度 事業報告<br>(2) 令和7年度 会計決算報告<br>(3) 令和7年度 監査報告<br>(4) 令和8年度 役員等選出について<br>(5) 令和8年度 事業計画（案）<br>(6) 令和8年度 会計予算（案） |        |

※「令和8年度 総会議案書」を当日ご持参ください。

※やむを得ず欠席される方は、委任状のご提出にご協力ください。

We bによる委任状のご提出も受け付けております。

右の二次元コードを読み取り、ご入力ください。



## —事務局活動報告—

事務局は現在5名で活動しており、研究会の円滑な運営及び情報発信を目的として、月1回程度、会議を開催しながら活動を進めています。主な活動内容としては、会報の発行、ホームページの更新、転任個人報告書や文書分類ラベルの作成等があります。

1月下旬の事務局会では、転任個人報告書の作成及び次号の会報発行についての検討を行いました。転任個人報告書については、昨年度末の人事異動における事例や、給与関係事務に係る事務連絡等を確認したうえで、作成しました。また、会報についても、記事の整理や表現の確認等を行い、発行に向けた編集作業を進めました。その後、最終確認を経て、3月上旬に各校への発送作業を行いました。

### 【転任個人報告書の作成に当たって(Excel 関数の活用)】

事務局では、より使いやすい書式となるよう、毎年改善を重ねています。その一環として、Excel の関数を活用し、入力作業の負担軽減にも取り組んでいます。具体的には、校園コードを入力することで、行政区・所属名・電話番号が自動的に表示される仕組みを導入しています。この仕組みでは、VLOOKUP 関数を使用し、入力された値を基に、一覧表データから該当する情報を検索して表示します。また、見やすさにも配慮し、IFERROR 関数を組み合わせることで、該当するデータがない場合でも「#N/A」といったエラー表示を出さず、空白のままとなるようにしています。これらの関数を活用することで、業務の効率化だけでなく、転記ミスの防止や入力内容の統一にもつながっています。

令和	年	月	日
所属名	北区	〇〇小学校	123456
所属長名			
職員番号			
担当者名			
電話番号	△△△△	-△△△△	〇〇小、〇〇

校園コードを入力

→行政区・所属名・電話番号  
が自動表示される

### 【会報の発行に当たって(Word 校閲機能の活用)】

研究会として発信すべき内容や、より伝わりやすい表現の工夫について意見交換を行いながら、編集作業を進めています。意見の共有には、Word の校閲機能を活用しています。校閲機能には、コメントの挿入や変更履歴の記録といった機能があります。コメント機能は、校閲タブの「新しいコメント」から挿入することができ、修正が必要な箇所や疑問点などを直接データに残すことができます。また、変更履歴の記録機能を使用することで、誰がどの箇所をどのように修正したかを確認することができ、編集の経過を把握することが可能になります。これらの機能を活用することで、修正箇所が明確となり、その後の作業を円滑に進めることができます。複数人で一つの資料を編集する際には、ぜひ活用してみてください。



### 編集後記

フォローシップは、学校内の組織だけでなく共同学校事務室でも活かせるものだと思います、今回の研修で学べるのが楽しみです。皆様のご参加を心よりお待ちしております🌸(S)